

2024年度第1回プロジェクト評価委員会 議事抄録

日時：2024年6月7日（金）14:00～15:29

場所：国立天文台大会議室及びZoomによるWeb会議

出席者（敬称略）：

委員：井岡 (Zoom)、犬塚 (Zoom)、大内 (正) (Zoom)、奥村 (Zoom)、川端 (Zoom)[†]、小杉 (Zoom)、
齋藤^{††}、徂徠 (Zoom)、藤澤、満田、吉田 (Zoom) ^{††}委員長、[†]副委員長

オブザーバ：土居台長 (後半のみ)

事務局：総務課総務係 (古川、大内 (香))、研究評価支援室 (堀)

欠席者：清水委員

【議 題】

1. 前回議事抄録の確認
2. 2023年度プロジェクト評価について（実施報告、評価報告書（案）の審議、「意見書」の検討）
3. 2024年度プロジェクト評価について
4. その他

【配付資料】

- 資料1 2023年度第1回国立天文台プロジェクト評価委員会議事抄録
資料2－1 2023年度プロジェクト評価実施報告
資料2－2 2023年度国際外部評価の評価2項目（2023.7.12 改訂版）
資料2－3 野辺山宇宙電波観測所評価報告書（案）
資料2－4 水沢VLBI観測所評価報告書（案）
資料2－5 ASTEプロジェクト評価報告書（案）

- 参考資料1 国立天文台プロジェクト評価委員会規則
参考資料2 Scientific Goals and Missions (CfCA)
参考資料3 プロジェクト評価の考え方、プロジェクト評価委員会の役割とプロジェクト評価の進め方（2023年6月23日改訂）
参考資料4 プロジェクト評価実施年度まとめ

【議 事】

2024年度の初回のため土居台長（4月就任）が陪席し、「非常に重要な評価をしていただいている。厳しい財政状況の中、大事な答申をどううまく国立天文台に取り入れて次の時代に向かっていくか、執行部でしっかりと検討させていただいて進めたい。」との挨拶があった。

議題1. 前回議事抄録の確認

齋藤委員長より前回議事抄録（資料1）について、メール照会後に確定済（2023年7月19日）

であるが¹、なにかあれば会議終了までに指摘するよう依頼があった。

議題 2. 2023年度プロジェクト評価について

● 実施報告

齋藤委員長より資料 2-1 に基づき、2023年度プロジェクト評価（国際外部評価として実施）の対象となった 3 つのプロジェクトについて、外部評価委員会（EEC）の委員リストおよび評価項目（資料 2-2）が確認され、参考資料 3 に沿っていずれも 3 月中に評価が実施された旨、報告があった。

また、評価報告書（最終版）は各 EEC より 6 月末までに提出され、7 月または 9 月の運営会議で報告した後、国立天文台ホームページ²にて公開する予定である旨、説明があった。

● 評価報告書(案)の審議

6 月はじめに各 EEC より提出された 3 つの評価報告書（案）（資料 2-3～2-5）について、各 EEC の委員として評価に参加した 3 名の台外委員より概要説明があり、意見交換が行われた。齋藤委員長より、報告書は最終的には EEC の責任でまとめられるため、本委員会の役割は評価報告書の中身を変えるのではなく、誤解されそうな記述がないか、事実と齟齬がないかを確認、指摘することである旨、説明があった。

（1）野辺山宇宙電波観測所

奥村委員より資料 2-3 「Executive Summary」に基づき、野辺山宇宙電波観測所の評価報告書（案）について説明があった。評価は対象期間を 2019 年度～2021 年度（共同利用観測を実施）、2022 年度以降（有料観測を実施）に分けて行われた。

主な質疑応答

- ・「Charged (telescope) time」(有料観測制度)にはどのような問題があるか？
→観測所が用意した時間が全部埋まっていない（利用された時間が予定より少ない）状況にある。自分でできることは自分でやってもらう枠組みが原因ではないか。
- ・野辺山が大きな運用の変更をしつつあるとの噂を聞き、なんとかしてくれとの要望を海外で受ける。45m 鏡は single dish の観測装置としては非常に貴重なので、有効利用を続けるのが大事。経験ある人とうまく協力してもらうような、良い枠組みを考えると良いのではないか。
→評価報告書（案）の趣旨は、そのような工夫をしてください、ということ。
- ・JV0³を活用してデータを公開（供給）している点について、「Executive Summary」だけでなく本文でも触れてはどうか。JV0 が活用されていることも明示するとよい。
→そのように加筆できると思う。
- ・サイエンススタッフを 2 名にすることが強く推奨されているが、なぜ 2 名か？
→今の人数を維持しなさい、ということ。
- ・評価項目 4（Future Plan）の記述について、EEC でどのような議論があったのか教えてほ

¹ 国立天文台ホームページにて公開済 <https://www.nao.ac.jp/recommend/project-review-committee/>

² 外部評価報告書 <https://www.nao.ac.jp/about/reports/external-reveiw/>

³ 国立天文台バーチャル天文台 JV0 (Japanese Virtual Observatory) <https://jvo.nao.ac.jp/>

しい。

→国立天文台執行部からの現状説明を受けて書いた、一般論。3つの観測所を比較する十分な資料・エビデンスの提供がなく、回答するのは難しかった。

- ・ASTEの評価報告書（案）にも同じ文章がある。野辺山の評価報告書を修正するなら、ASTEも同様に修正した方がよい。一般論なので、そのまま受け止められると心配だ。

（2）水沢VLBI観測所

徂徠委員より、評価の概要および資料2－4を要約した資料（徂徠委員作成）に基づき、水沢VLBI観測所の評価報告書（案）について説明があった。

主な質疑応答

- ・VLCOPについて説明があると助かる。どういうシステムか？

→VERAの共同利用に代わるものとして始まった。一定時間、観測所の運営に貢献する代わりに、VERAの観測時間をもらえるプログラムである。報告書で説明する。

- ・バジェットには承継職員の人件費は含まれない、と書いてほしい。

→はい。

（3）ASTEプロジェクト

藤澤委員より資料2－5「Executive Summary」に基づき、ASTEプロジェクトの評価報告書（案）について説明があった。

主な質疑応答

- ・評価項目5（Future Plan）を読んだ印象として、最初に厳しい対応のことが書かれていると、EECがこれを推奨していると読む人もいると思う。この順番で良いのか？最初に「Another possible solution」を書いて、次に最終手段としてこれがありうるという書き方にした方が良いか？

→文章は少し調整したい。それよりも、3つの観測所がうまく一体運用できれば良いに違いないとEECで議論したが、3つの所在地がばらばらなので難しいと書いた。

→印象はその通りだと思うが、EEC委員の立場としては、想定質問を普通に考えるとこれを書かずに他のことを書くのも変で、（厳しい対応に触れないのは）非常に困る。

→審査員の書き方だと思うが、取るべき手段としてまずシナジーを調査し、それでもだめなら次を考えましようとするのが、ロジカルには普通だと思う。ただ、そのようにも読めるので、強いて（文章を）変える必要もない気がする。

- ・コミュニティにもっと開かれるように、との提言があったのではないか？

→それは本文にかなり書き込まれているので、変える必要はない。

●「意見書」の検討

3つの報告書を受けて、プロジェクト評価委員会として台長や運営会議に伝えたい意見があれば「意見書」としてまとめ、報告書に付随して提出することを確認した。また、齋藤委員長より、評価報告書のリコメンデーションはCloseに向けて台内担当執行部とプロジェクト長

が協力してフォローする旨、説明があった。議論の結果、メール審議で「意見書」を作成することとなった。

主な質疑応答

- ・「意見書」が公表されるのであれば、共通の評価項目「3つの観測所は現在独立に運用・管理しているが、そのままが良いか、より効率的な運用をすべきか」について、各EECに評価対象以外のプロジェクトのデータをすべて渡して評価をしてもらったわけではないこと、(評価報告書は)その上での意見であることを、但し書きで表明してほしい。
→事実として、但し書きを書くことに賛成する。
- プロジェクト評価委員会の意見として、事務局で案を作り、メール審議で進める。「このチャージは執行部からの情報量が非常に少なく、(各EECで)これらを適切に評価するのが困難な状況であった。」という趣旨。

議題3．2024年度プロジェクト評価について

齋藤委員長より、2024年度は天文シミュレーションプロジェクト (CfCA) を対象にプロジェクト評価を実施する旨、報告があった。本日は評価に関する4項目を議論する予定であったが、CfCAからの原案提出が間に合わず、回答があったうち執行部と合意が取れた項目についてのみ審議を行った。その結果、以下が承認された。

- ・プロジェクト評価委員会より、1名が外部評価委員会に参加する。
- ・CfCA担当執行部である生駒研究連携主幹に、評価コーディネータを依頼する。
- ・評価は11月頃に実施する (11月18日の週は避ける)。

議題4．その他

齋藤委員長より、CfCAの評価4項目原案の残りについて審議するため、7月中に第2回プロジェクト評価委員会を開催したい旨、依頼があった。委員の都合を確認した結果、7月15日の週を避けて、あらためて日程照会することとなった。

以上